

## 助成対象事業成果概要報告書(概要版)

制度名	チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	高齢者および認知症者向け言語リハビリ訓練支援 SaaS の開発および提供
助成対象事業者名	株式会社アニモ
助成金の額	9,550 千円

### 【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	「発声」「聴取」「リズムカル運動」を複合して行う言語リハビリ訓練によって脳全体を活性化することで、認知症予備軍である高齢者および認知症者の症状を改善し日常生活活動(ADL)の基本であるコミュニケーション能力の維持・向上を図る。言語リハビリ訓練に必要なコンテンツおよびそれらをネットワークサービスとして提供する仕組みを開発し、当社がすでに運営している音声 SaaS サービス群の1サービスとして提供する基盤を確立する。
②	助成対象事業の目標	訓練コンテンツおよび訓練システムを開発するとともに、できあがったシステム全体のテストと介護施設等におけるコンテンツの評価を行う。

### 【平成26年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	訓練コンテンツの開発は6月下旬から1月末まで、訓練システムの開発は6月下旬から11月末まで、さらにシステムテストを11月から2月まで行った。コンテンツの評価は12月から1月まで行った。
④	助成対象事業の成果	<p>訓練コンテンツについては、身体リズム運動の26コンテンツ、リズム発話運動の24コンテンツ、イントネーション発話運動の64コンテンツ、プロミネンス発話運動の64コンテンツを開発した。</p> <p>訓練システムは、サーバー系システムとクライアント系システムのソフトウェアを開発した。サーバー系のプラットフォームはCentOSとApacheで、言語はPHP、データベースはMySQLを利用している。クライアント系は、Flashが動作可能なブラウザに対応した。</p> <p>コンテンツの評価を介護老人保健施設カリタス・メンテ(静岡県藤枝市)、総合リハビリテーションセンター・みどり病院(新潟県新潟市)および日本全体構造法臨床言語学会東京地区勉強会において、認知症患者を担当している医師1名、言語聴覚士13名、介護福祉士5名および施設患者10名により実施した。</p> <p>今後、2015年度上期にSaaSサービス化の検討を行い、2015年度下期よりサービスを開始する予定である。</p>
⑤	補足説明事項	